

Borsuk-Ulamの定理と その親戚

日 時: 2015年 11月17日(火)~20日(金)

全4回 いずれも 18:15~19:30

場 所: 京都大学理学研究科3号館 108講義室

講 師: 岸本 大祐 (京都大学大学院 理学研究科・准教授)

対 象: 主に理学部1, 2回生で数学の進んだ内容に興味を持つ学生

* 申し込みは不要です。

吉田塾合宿で扱った内容の理解は前提としていませんので
合宿に参加されなかった方もふるってご参加ください!

講義の概要:

Borsuk-Ulam の定理は、球面を平らにつぶしたときに必ず重なる対蹠点があることを保証するものである。その拡張や応用は多岐にわたり、現在も盛んに研究されている。この講義では Borsuk-Ulam の定理とその親戚について解説する。



主催: 京都大学スーパーグローバル大学創成支援事業 数学系サブユニット

SGU (スーパーグローバル大学創成支援事業) 数学系サブユニットでは、高い数学の研究能力と語学力を備え、国際的な舞台で活躍できる若手研究者の育成を目指し世界トップレベルの研究者による様々な国際教育プログラムを実施しています。